

2024年2月期（第39期） 決算説明資料

2024年4月12日
ローツェ株式会社

証券コード：6323
<https://www.rorze.com/ir>



注意事項

◆ 将来見通しに関する記述について

本資料に記載されている業績予想、将来予測などは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証したり、約束したりするものではありません。また、経済動向や業界における競争、市場、諸制度等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、今後予告なく変更されることがあります。

◆ 本資料における表示方法について

数 値： 単位未満を切り捨て

比 率： 1円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入

会計期間： 連結・当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	Q1 (第1四半期)	Q2 (第2四半期)	Q3 (第3四半期)	Q4 (第4四半期)	通 期
連結・当社・国内子会社	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～翌年2月	3月～翌年2月
海外子会社	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～12月

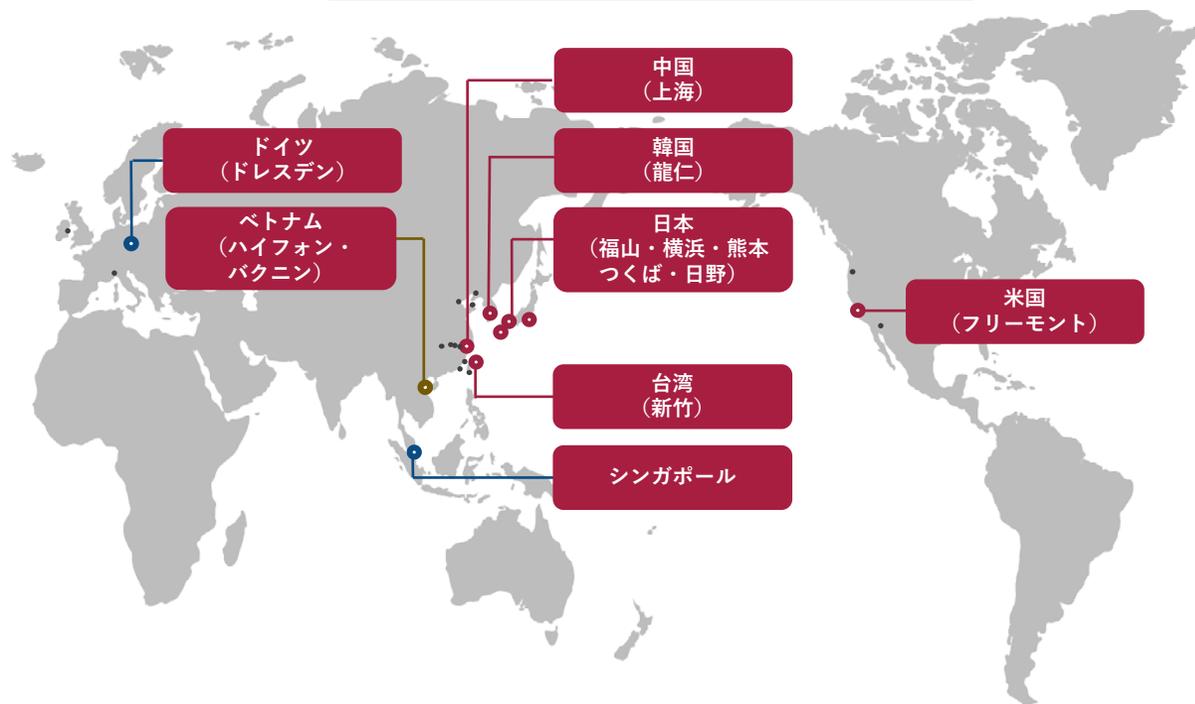
◆ 本資料における会計年度の表示方法変更について

会計年度の表示方法はこれまで年度末日の属する暦年表記でしたが、今期より年度開始日の暦年表記に変更しています。そのため「2022年2月期」を「FY2021」または「FY'21」、「2023年2月期」を「FY2022」または「FY'22」、「2024年2月期」を「FY2023」または「FY'23」と表記しています。

会社概要

会社名	ローツェ株式会社 (英文名：RORZE CORPORATION)
所在地	広島県福山市神辺町道上1588番地の2
設立	1985年（昭和60年）3月30日
資本金	982百万円
事業内容	半導体・フラットパネルディスプレイ(FPD)・ ライフサイエンス関連の自動化・搬送装置の 開発・製造・販売
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：6323)
従業員数	連結 3,997名 (2024年2月末現在) 単体 240名
事業拠点	国内： 福山・横浜・熊本・つくば・日野 海外： 米国・ベトナム・台湾・韓国・ シンガポール・中国・ドイツ

グローバルネットワーク



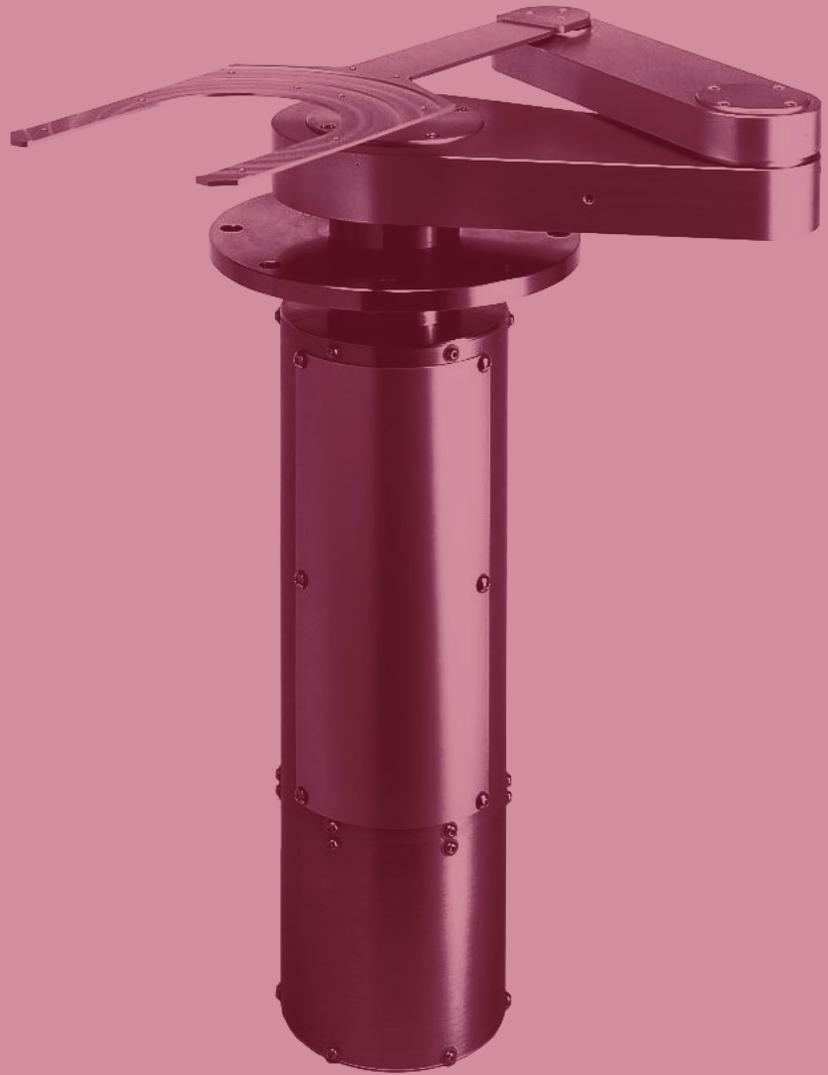
- 開発・生産・営業・サポート
- 営業・サポート
- 開発・生産
- サポート



会社案内ダウンロード

https://www.rorze.com/files/jp/company_profile.pdf





2024年2月期
(第39期 2023年3月～2024年2月)
連結業績

業績ハイライト

売上高

93,247 百万円

前期比

▲1.3%

計画比

+5.9%

営業利益

24,138 百万円

前期比

▲8.6%

計画比

+11.7%

経常利益

27,076 百万円

前期比

▲10.8%

計画比

+25.6%

親会社株主に帰属する

当期純利益

19,576 百万円

前期比

▲8.5%

計画比

+24.5%

■半導体設備投資の調整を受け減収減益ながら、通期で計画を上回る業績

- ・装置メーカー向け売上では、米国向けが高水準継続、中国向けがQ1を底に急回復
- ・為替レート(対ドル)は、期初133円からQ3末149円まで円安進行後、期末は141円で着地

■円安、部材調達の安定化および生産効率改善などが増益要因

2024年2月期 通期連結業績

(百万円)

科 目	当期実績	通期計画	計画比 (%)	前期実績	前期比 (%)
売上高	93,247	88,026	105.9	94,518	98.7
半導体関連装置	78,946	71,986	109.7	80,839	97.7
分析装置	3,112	3,544	87.8	—	—
F P D 関連装置	3,713	4,578	81.1	6,340	58.6
ライフサイエンス関連装置	1,220	1,342	90.9	1,186	102.9
モータ制御機器	157	152	103.4	163	96.6
部品修理 他	6,097	6,421	94.9	5,989	101.8
営業利益	24,138	21,619	111.7	26,418	91.4
経常利益	27,076	21,553	125.6	30,344	89.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,576	15,718	124.5	21,384	91.5

- 売上高
前期比1.3%減、計画比5.9%増
- 半導体関連装置
中国・米国などの売上好調
計画比9.7%増
 - 分析装置
今期より計上(イアス社)
 - FPD関連装置
自動化の大型投資端境期
 - ライフサイエンス関連装置
創薬ラボ向け装置が牽引

2024年2月期 四半期会計期間別連結業績

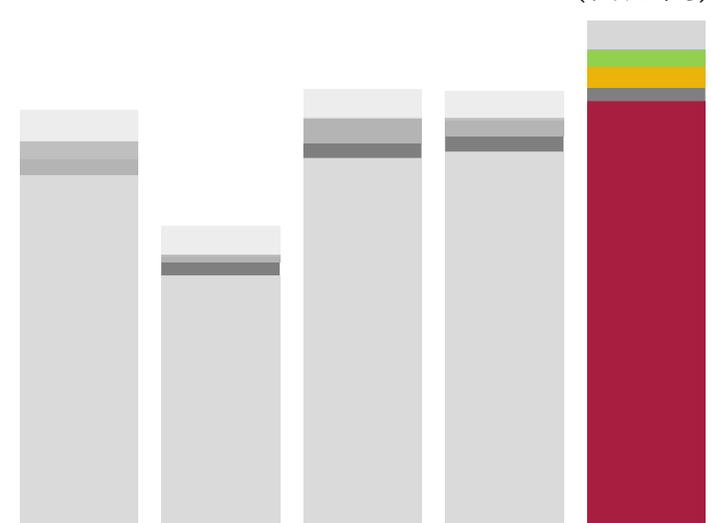
(百万円)

科 目	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
売上高	16,693	24,299	24,169	28,085	93,247
半導体関連装置	13,987	20,489	20,836	23,632	78,946
分析装置	715	805	849	742	3,112
F P D関連装置	346	1,368	846	1,152	3,713
ライフサイエンス関連装置	100	52	148	919	1,220
モータ制御機器	49	38	33	36	157
部品修理 他	1,493	1,544	1,457	1,601	6,097
営業利益	4,718	5,234	5,810	8,375	24,138
経常利益	5,208	8,670	7,448	5,750	27,076
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	3,557	6,278	5,652	4,088	19,576
為替レート（円/USD）	133	144	149	141	—

連結売上高はQ1を底に増加傾向、Q4は過去最高の四半期売上高を更新

売上高の推移

(百万円)



	Q4 FY'22	Q1 FY'23	Q2	Q3	Q4
部品・修理 他	1,715	1,493	1,544	1,457	1,601
モータ制御機器	49	49	38	33	36
ライフサイエンス関連装置	937	100	52	148	919
FPD関連装置	914	346	1,368	846	1,152
分析装置	—	715	805	849	742
半導体関連装置	19,519	13,987	20,489	20,836	23,632

半導体関連装置

- ・ Q4は過去最高の四半期売上高を更新(過去ピーク:2023/2期Q3の223億円)
- ・ 中国や米国の製造装置メーカー向けが好調、特に中国向けの増加が顕著

分析装置

- ・ 初年度31億円、イアス社より国内外の半導体メーカーやウエハメーカー向けに主力製品Expert™を納入

FPD関連装置

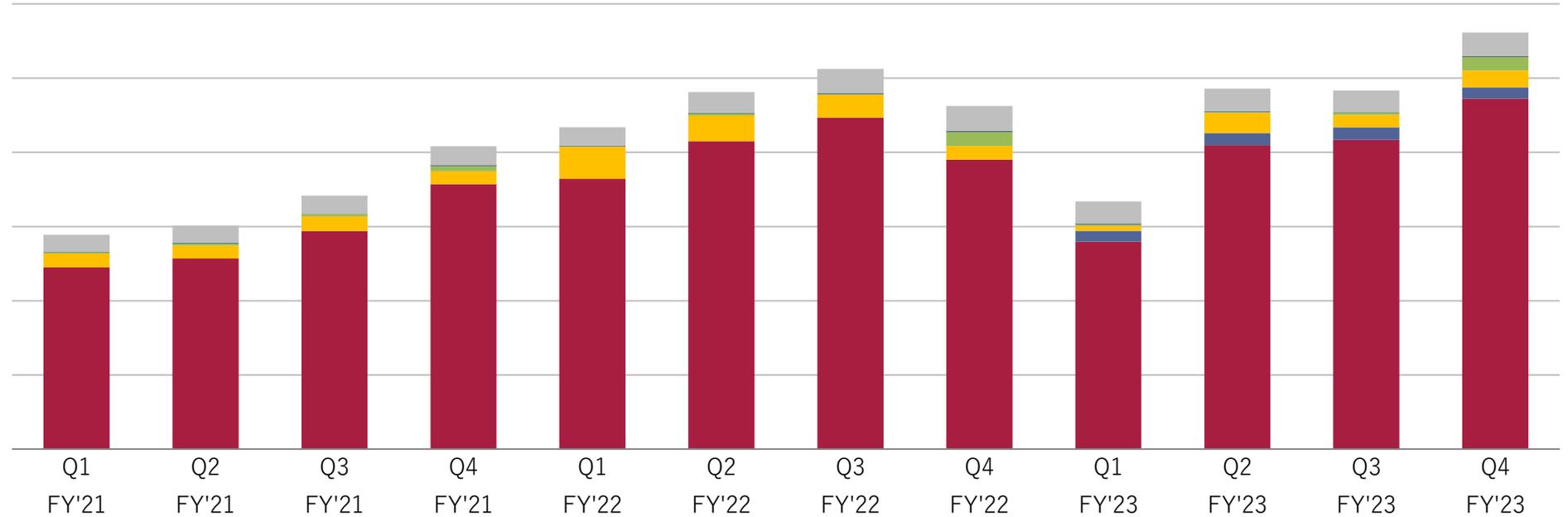
- ・ 主要顧客の韓国、ベトナム向けなどに大型搬送装置や各種自動化装置を納入

ライフサイエンス 関連装置

- ・ 大手製薬向け装置納入がQ4に集中

連結四半期別売上高の推移（品目別）

(百万円)



■ 部品・修理 他

■ モータ制御機器

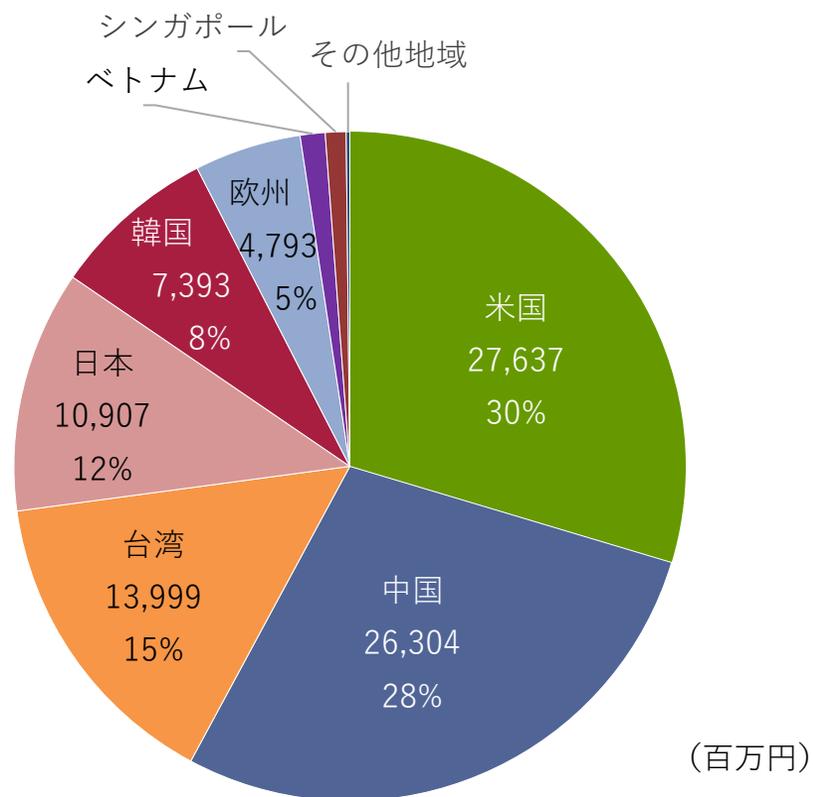
■ ライフサイエンス関連装置

■ FPD関連装置

■ 分析装置

■ 半導体関連装置

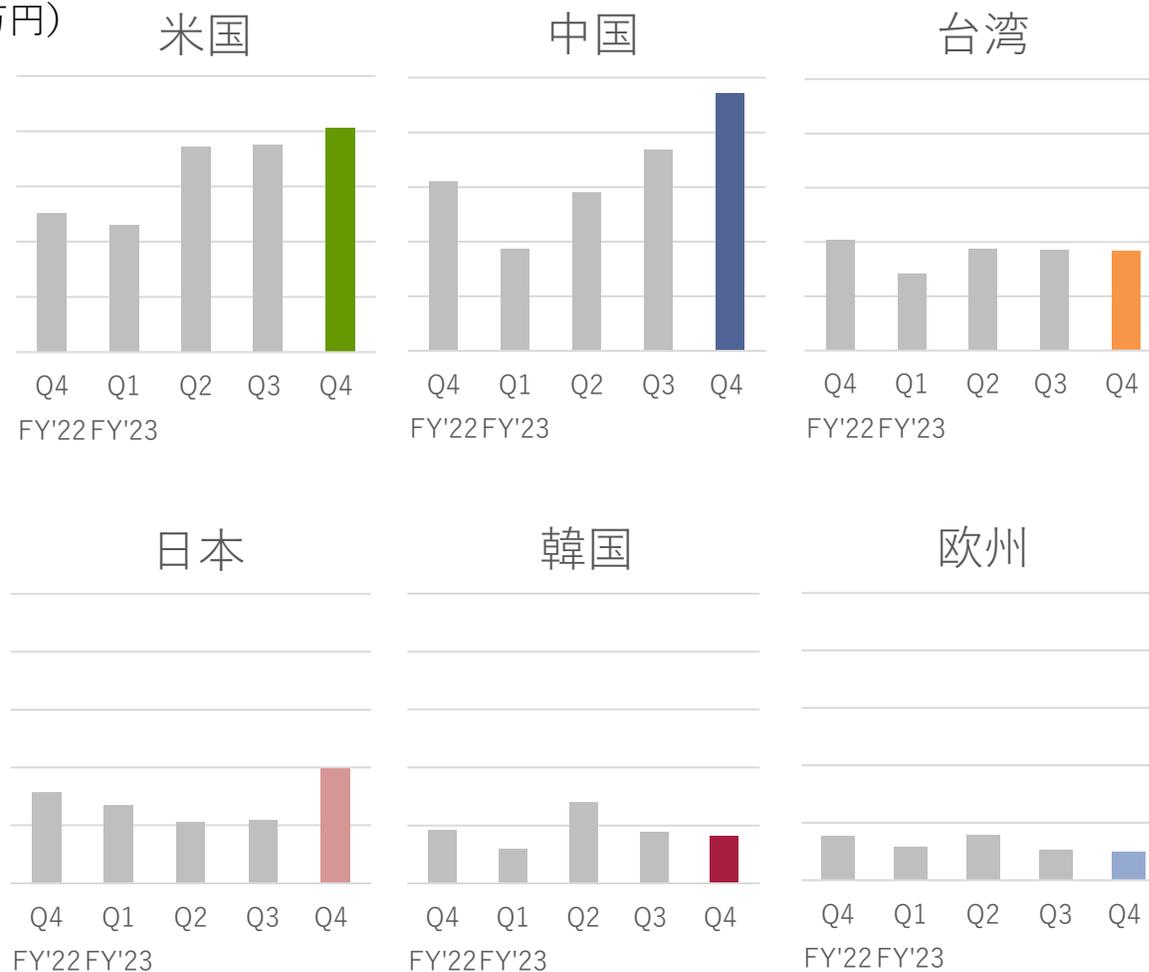
地域別売上高



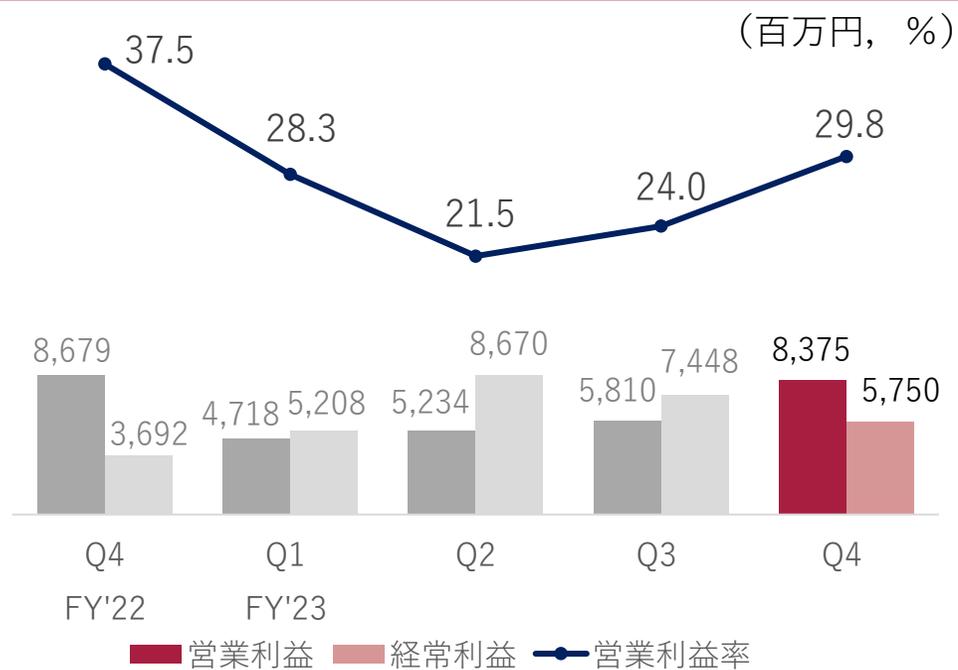
・ 中国向け売上著増、Q4は中国向け売上が全体の34%

※ 「地域別売上高」は、販売先の所在地別に集計しております。
例) 台湾ファンドリの米国現地法人向け売上は米国に分類

(百万円)



四半期損益の推移



(円, 百万円)

期	Q4 FY'22	Q1 FY'23	Q2	Q3	Q4
為替レート (円/USD)	132	133	144	149	141
為替差益	▲5,793	526	3,397	1,800	▲3,006

(注) Q4の営業利益率は急激な円高時の連結決算処理の影響による営業利益の増加要因が含まれます。

営業利益

- ・ 営業利益率は6pt改善

生産増に伴う固定費負担率の低下
開発研究費の一時的減少

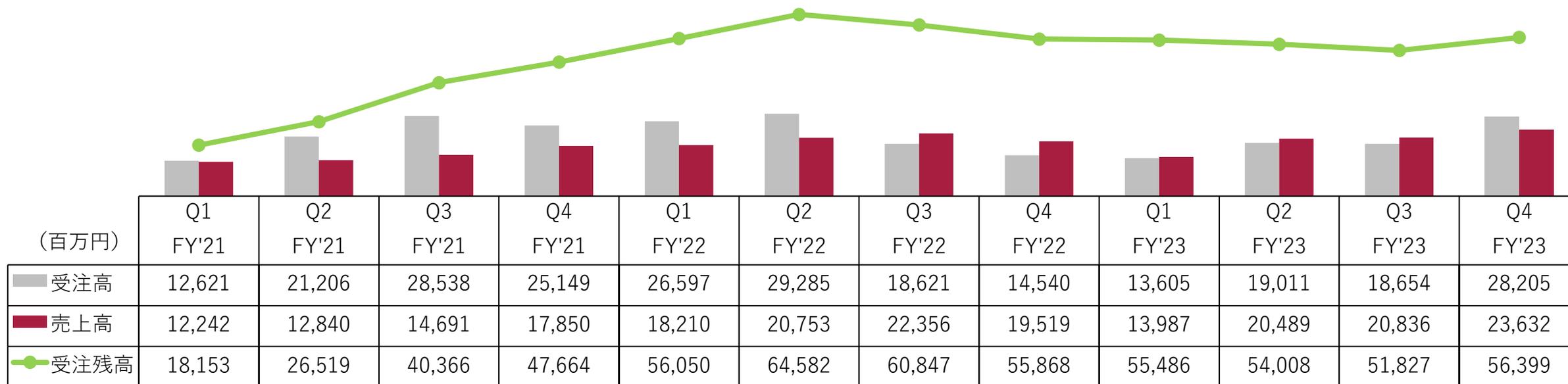
経常利益

- ・ 円高に伴う為替差益減少30億円

受注高・売上高・受注残高の推移

半導体関連装置

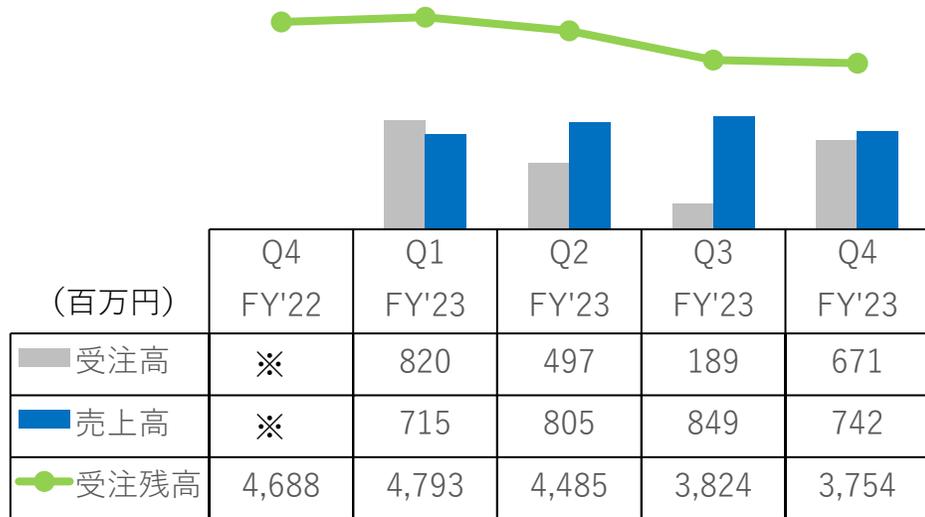
- ・ 受注高は中国、米国および台湾などからの受注増加により前四半期比95億円の増加
- ・ 過去最高の四半期売上により装置納入加速の一方、急激な受注増により期末受注残高は46億円増加



受注高・売上高・受注残高の推移

分析装置

- ・ 当期グループ入りのイアス社主力製品の全自動気層分解（VPD）装置Expert™の受注、納入を継続
- ・ 一部顧客起因の装置立上げ遅延や検収待ちが発生
- ・ 一部モジュール製品のベトナムでの生産開始

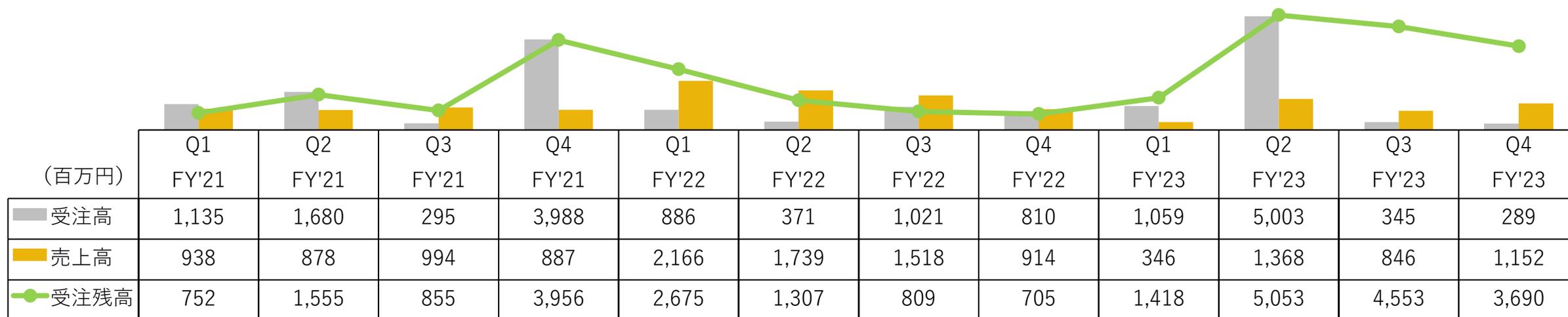


※ 当社連結前の受注高、売上高のため記載しておりません。

受注高・売上高・受注残高の推移

FPD関連装置

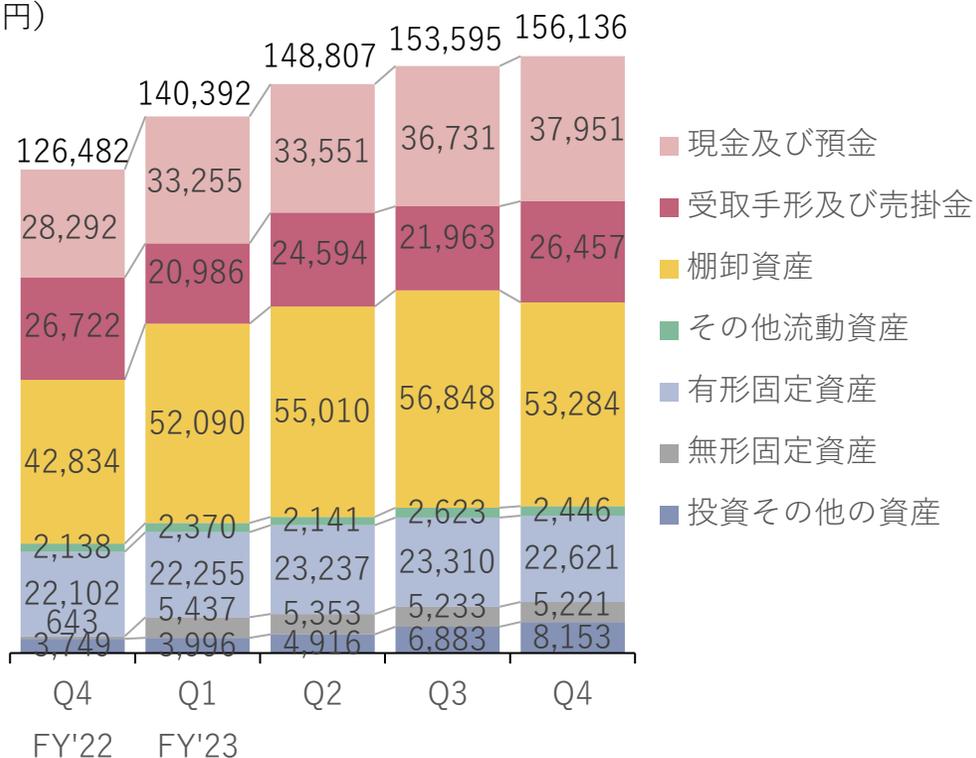
- ・ 韓国向け搬送装置およびベトナム向け自動化装置等の納入進む
- ・ 前工程用大型搬送システムの一括受注案件は今期納入予定



連結貸借対照表

資 産

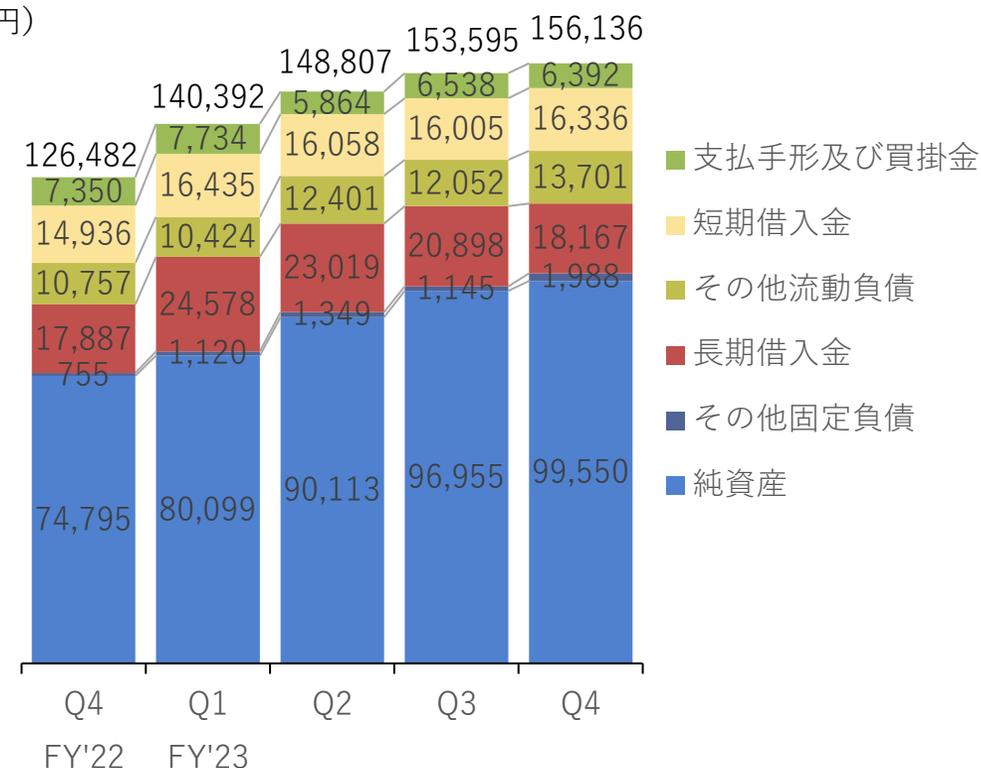
(百万円)



- ・ 棚卸資産が104億円増加、Q3でピークアウト
- ・ イアス社取得により無形固定資産が42億円増加

負債・純資産

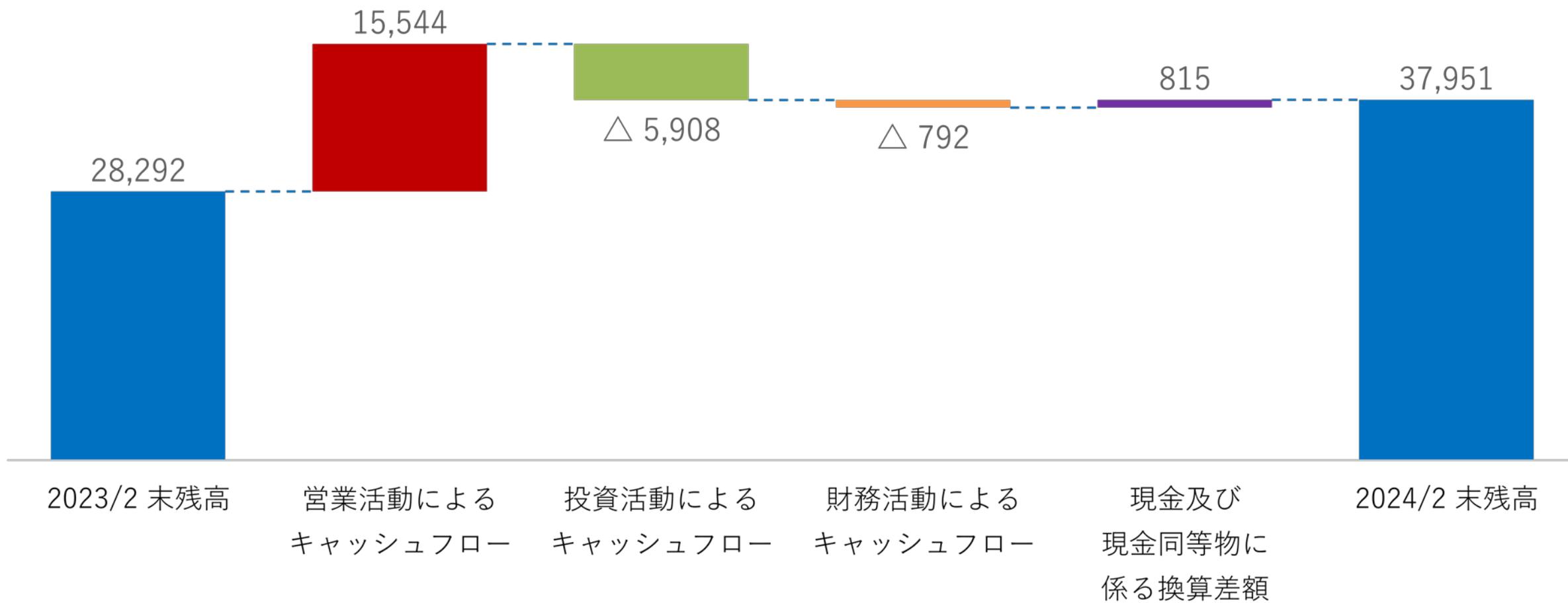
(百万円)

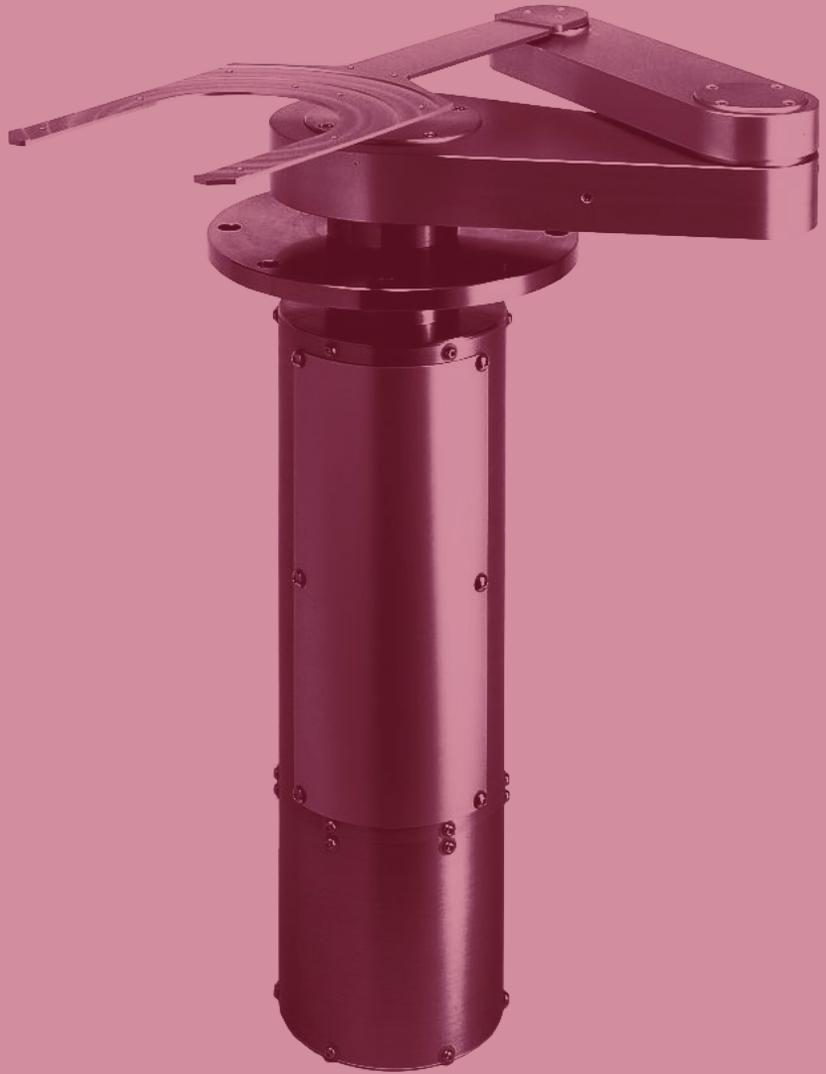


- ・ 前受金（その他流動負債）が24億円増加
- ・ 借入金が16億円増加

2024年2月期 連結キャッシュ・フロー

(百万円)





2025年2月期（第40期） 今後の見通し

2025年2月期 今後の見通し

【事業環境】

- 経済安全保障として、各国で半導体確保のための補助金政策や企業誘致による国産化強化の動き
- 米国の対中輸出規制の影響から、中国での積極的な半導体設備投資が継続
- 生成系AIやデータセンター向け等に必要AI向け半導体やHBMなど新たな設備投資需要の拡大
- 高いデバイス密度と機能拡張を実現するため、アドバンスドパッケージ関連の半導体設備投資が加速



【今後の見通しと取組み】

- 半導体関連装置
 - ・ 中国工場にて増産を進め、中国向けEFEMの現地生産比率を向上
 - ・ 組立自動化、製品リードタイム短縮に取り組む
 - ・ 新製品の開発を加速
- 分析装置
 - ・ 主力装置の受注拡大と自社グループによる営業サポート体制構築
- FPD関連装置
 - ・ 前期一括受注分の納入およびベトナム向け自動化装置の新規受注を見込む
- ライフサイエンス関連装置
 - ・ 国内製薬企業の自動化需要拡大

2025年2月期 通期連結業績予想

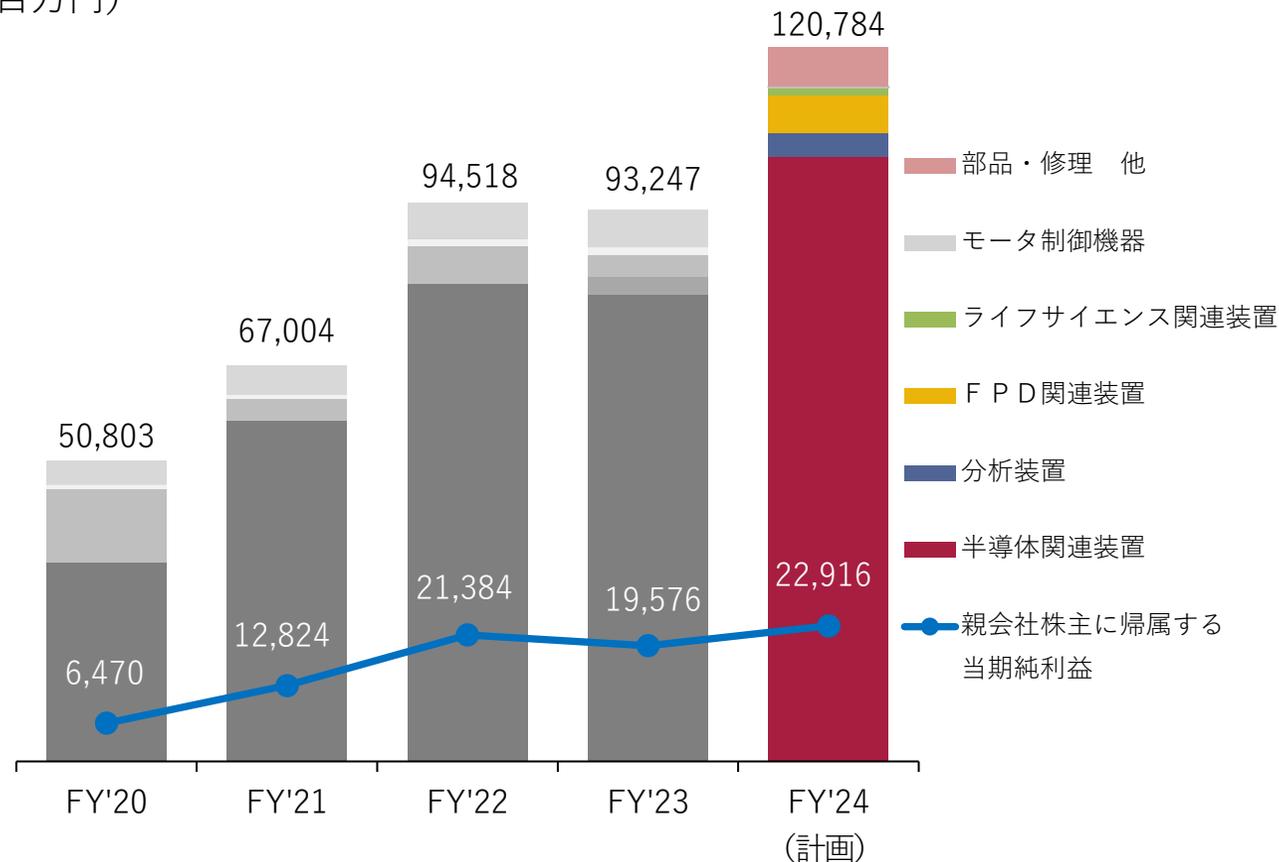
(百万円)

科 目	当期計画	前期実績	前期比(%)
売上高	120,784	93,247	129.5
半導体関連装置	102,399	78,946	129.7
分析装置	3,841	3,112	123.4
F P D 関連装置	6,511	3,713	175.3
ライフサイエンス関連装置	1,300	1,220	106.6
モータ制御機器	109	157	69.3
部品修理 他	6,623	6,097	108.6
営業利益	31,617	24,138	131.0
経常利益	31,518	27,076	116.4
親会社株主に帰属する当期純利益	22,916	19,576	117.1
為替レート (円/USD) ※	144	141	—

※ 前期(2024年2月期)までは期末日レートを使用していましたが、当期より計画および実績は期中平均レートを使用します。

2025年2月期 通期連結業績予想

(百万円)

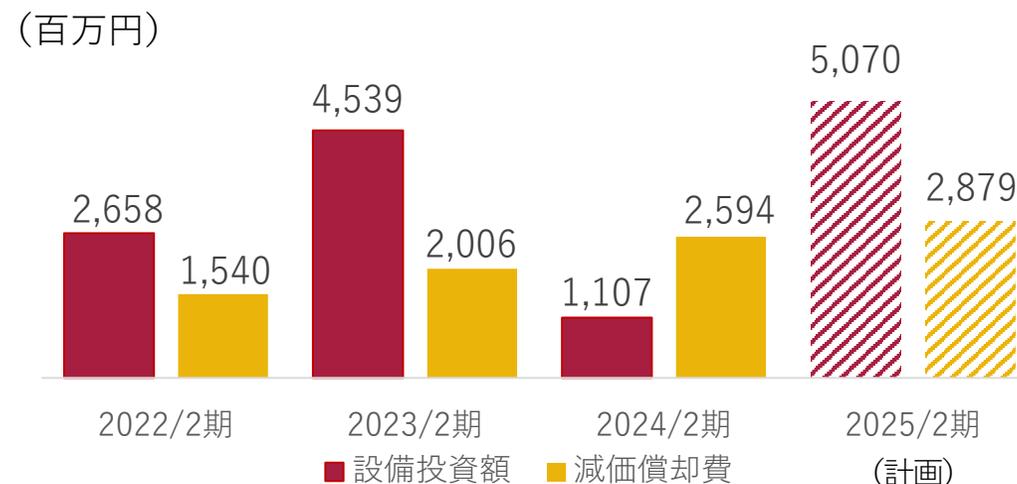


- 売上高は1,207億円と過去最高、前期比30%増を見込む
- ベトナムおよび中国の装置組立工場の増強や量産体制確保などにより需要に対応
- 営業利益は半導体関連装置の売上増加による利益拡大などにより前期比31%増を見込む
- 前期高水準の為替差益を見込まず、経常利益は前期比16%増に留まる

設備投資額・減価償却費・研究開発費

◆設備投資・減価償却

- ・ベトナム工場における組立自動化に必要な機械設備導入および加工機械設備更新
- ・サービス拠点の拡充（米国、シンガポールなど）
- ・将来の生産強化に備えた工場用地
- ・減価償却費は28億円を予定
イアス社取得によるのれん償却は4.7億円/年で償却期間10年



◆研究開発

- ・真空用搬送装置の新製品開発
- ・アドバンスドパッケージ用の搬送装置の開発
- ・次世代製品のための要素技術開発





トピックス

株式分割

2024年8月31日を基準日として、9月1日付で10分割

2024年8月31日

基準日



2024年9月1日

効力発生日

発行済株式総数

17,640,000株



176,400,000株

(1) 配当について

今回の株式分割は、2024年9月1日を効力発生日としておりますので、2024年2月29日を基準日とする2024年2月期の期末配当につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

(2) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

※ 詳細については、2024年4月11日発表の開示資料をご覧ください。

自己株式の取得

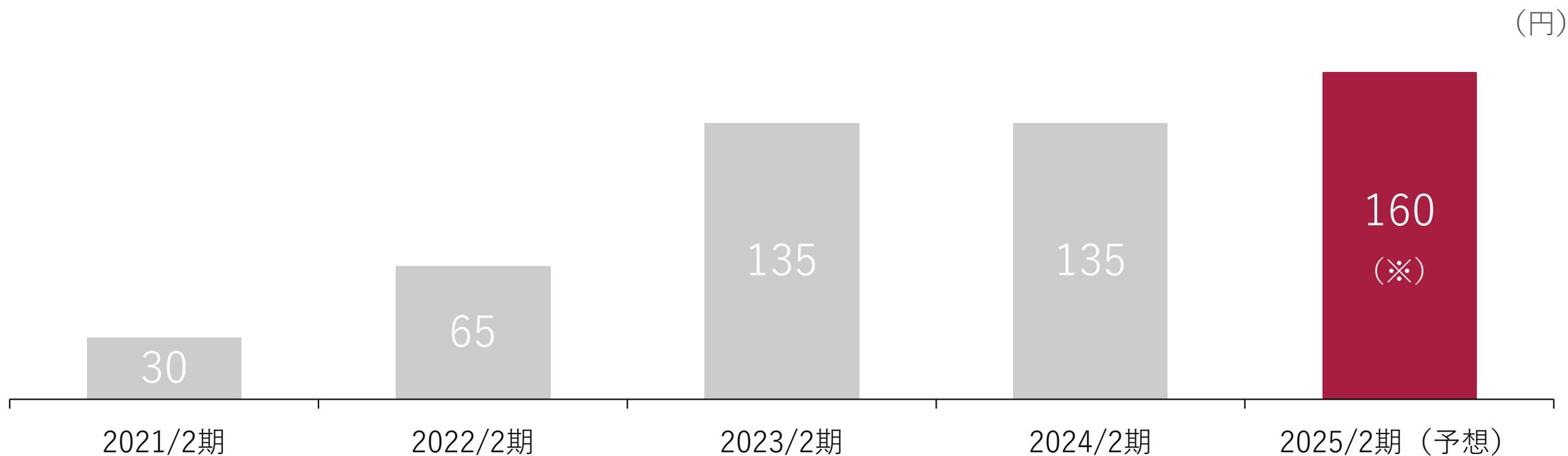
- ・機動的な資本政策を遂行するため

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	15,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.085%）
(3) 株式の取得価額の総額	5億円（上限）
(4) 取得期間	2024年4月12日から2024年5月10日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

（ご参考）2024年2月29日時点の自己株式の保有状況

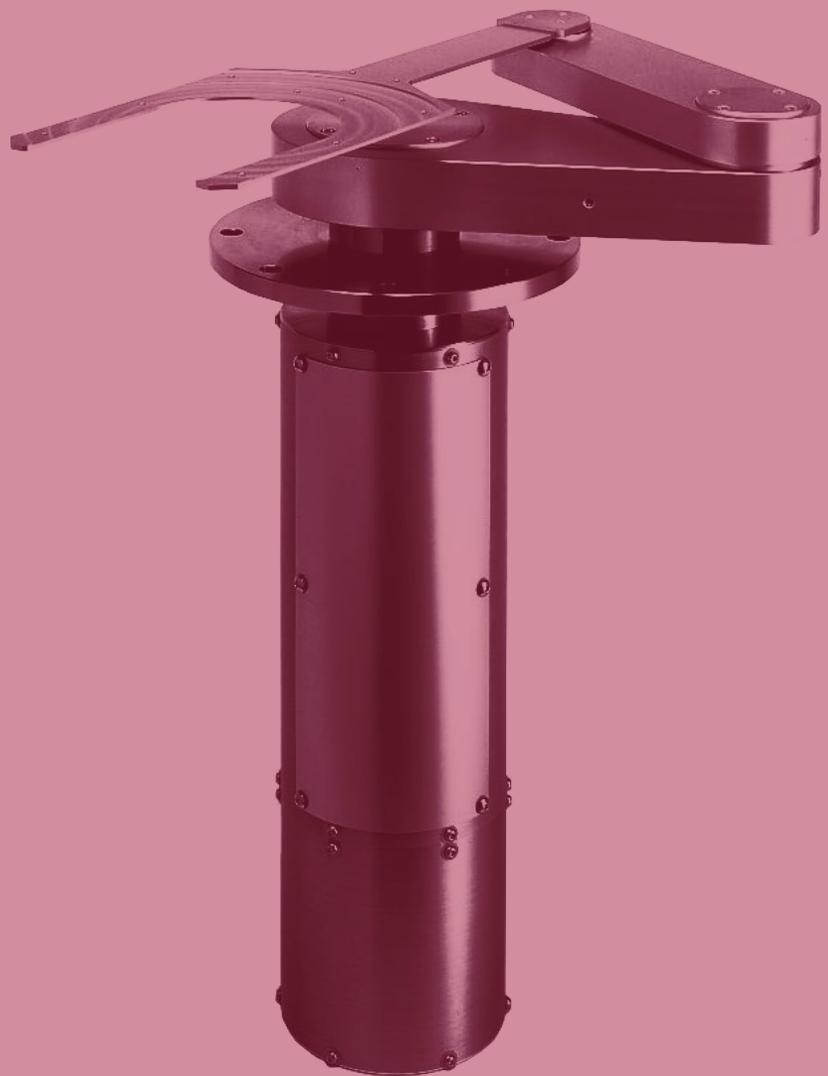
発行済株式総数（自己株式を除く）	17,620,209株
自己株式数	19,791株

期末配当金の推移



2025年2月期の連結業績予想より期末配当160円 (※) を想定

※ 上記の期末配当金は、今回実施を予定している株式分割前の金額で記載しています。



参 考 资 料

半導体関連装置

RORZE

ユニット



大気用搬送ロボット



アライナ



ロードポート

システム



EFEM



真空プラットフォーム

システム



ウエハソータ



N2パージウエハストック

装置メーカー

プロセス装置
検査装置

エンドユーザー

デバイスメーカー
ウエハメーカー

アドバンスドパッケージ用装置

アドバンスドパッケージ

より小さいフットプリントで高いデバイス密度と機能拡張を実現できるようにチップレットを接続する方法

■PCB(プリント基板)上でのパッケージング

前工程 1 ウェハで1種類のチップ

これまでのローツェ搬送装置の市場

後工程 1 パッケージで1種類のチップ

PCB基板上にマウンターでパッケージング
(各半導体間はPCB基板を通じて通信)

■シリコンウエハ上でのパッケージング

中工程 後工程のパッケージングをする代わりに、
・ウェハを薄くしてシリコンを貫通する通信用の縦穴形成 (TSV: Through Silicon Via)
・インターポーザ (※) 上で**複数のウェハを3Dに積層する**

ローツェの搬送装置が必要な新市場が拡大 (前工程 + 中工程)

- アドバンスドパッケージ用装置
 - ・ Tape Frame Sorter
 - ・ PLP EFEM など

※インターポーザ: 貫通電極によって表裏の回路の導通をとり中継する基板
(シリコンインターポーザ、ガラスインターポーザ、有機インターポーザ)

アドバンスドパッケージ用装置



PLP用EFEM



Tape Frame用ソーター



分析装置



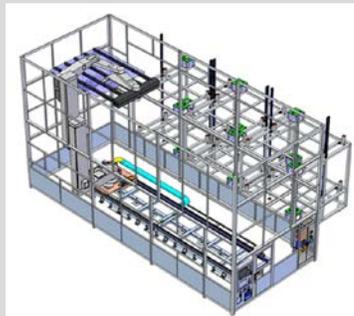
半導体業界
製造装置メーカー
エンドユーザー
デバイスメーカー
ウエハメーカー

半導体業界以外
研究機関
環境計測機器
化学薬品メーカー
など

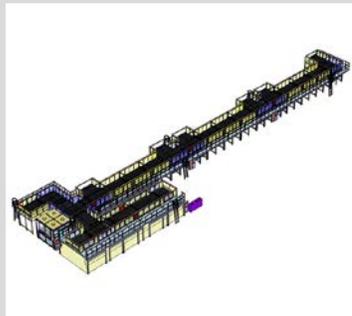
FPD関連装置

RORZE

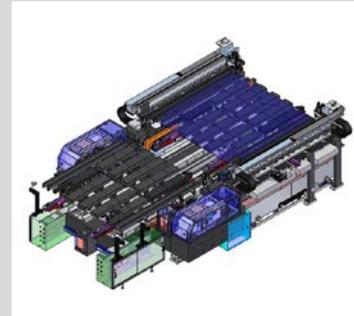
ローツェシステムズ
(韓国子会社)



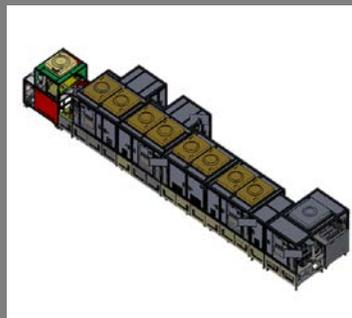
INDEX超大型搬送システム



インライン搬送システム



レーザーカッティング装置



ディスプレイモジュール機器



Packing 超大型Cell装置



前工程：

FPDメーカー
FPD用ガラスメーカー



後工程：

FPDメーカー

ライフサイエンス関連装置



インキュベータ
SCALE48



自動培地交換機能&細胞観察
機能付きCO2インキュベータ
CellKeeper® II 48Plus



モバイルロボット



全自動培地交換システム
CellFarm(L)-360™



スケジューリングソフトウェア
Green Button Go™ ※
(※Biozero社製)



大学・製薬企業等
研究機関
再生医療関連企業

セルシード社との細胞シート培養自動化の取り組み

ローツェライフサイエンス社の細胞培養インキュベータCellKeeperによる自動培地交換・観察機能、セルシード社の細胞シート回収技術UpCell®のほか、継代培養時の細胞剥離等の各種工程を工業的視点で見直したうえで、自動化・効率化し、最終的に細胞(シート)培養の自動化を図るもの

細胞培養自動化

CellKeeper



培地交換・観察機能付きインキュベータ

細胞シート培養自動化

開発



細胞シート回収自動化

開発



UpCell® : 細胞 (シート) 回収用温度応答性
細胞培養器材

<https://www.cellseed.com/business/product/upcell.html>

(セルシード社ホームページ)

ありがとうございました

